

市民活動団体 応援コーナー

このコーナーは、毎月1日号で、市内で活動する皆さんの主催するイベントや会員募集を紹介するものです。

掲載申込みの詳細は、市ホームページをご覧ください。

☎広報情報課 ☎983・2620

三島市 市民活動団体応援

7月1日号への掲載の申込みは、5月26日(木)までに、
広報情報課
✉kouhou@city.mishima.shizuoka.jp
FAX 983・2719

広報みしま	締切日
8月1日号	6月22日(木)
9月1日号	7月21日(木)
10月1日号	8月24日(木)

【申込みの注意事項】

- 紙面に限りがあるため、掲載できない場合や、内容を省略する場合があります。了承のうえ、お申込みください。
- 掲載の可否は原稿の確認の連絡をもって代えものとし、掲載不可の場合には連絡しません。
- 掲載は無料
- 掲載基準を必ず確認し、了承のうえでお申込みください。

※掲載基準などの詳細は
市ホームページ



▲市民活動団体応援コーナー詳細

文化

初めての人も、 楽しく二胡を弾いてみよう！

とても優しい音色の中国の伝統楽器、二胡。実際に手に取って音を出してみましょう
☎①5月14日(出)②22日(日)③6月11日(出)午後1時30分～3時 場生涯学習センター5階・音楽室 ☎無料 ☎高校生～80歳程度 ☎15人 ☎・☎各日5日前までに高橋 ☎090・3309・6659

シニアのための脳トレピアノ講座 お仲間募集

☎▶5月～令和5年3月(月1回、日曜日)午後1時～5時(うち90分間)▶無料体験会:5月29日(日)午後1時～5時(うち90分間) ☎生涯学習センター5階・音楽室 ☎ピアノ初心者向けのアンチエイジング脳トレピアノ講座 ☎月2,200円(楽器レンタル料300円) ☎60歳程度から ☎・☎5月22日(日)までに井上 ☎080・3313・0602

スポーツ・健康

ドッジボール大好きっ子あつまれ！ 体験教室参加者募集

☎毎週土曜日午後1～3時 ☎場南小学校または中郷小学校・体育館 ☎無料 ☎小学生 ☎・☎田島 ☎080・6900・6203 または「ワンピース三島」ホームページ▶ <https://www.5.hp-ez.com/hp/one-dozzi/>

その他

感動する映画「整膚」初公開上演

ひとりの少女が「整膚」に出会って、心身共に健康を取り戻す物語 ☎①5月14日(出)②15日(日)午後1時30分～3時 ☎県総合健康センター3階・第2研修室 ☎500円 ☎10人 ☎・☎整膚の会・高野 ☎090・6330・4101 ※整膚とは、自分の指で皮膚をつまんで健康になる万人への手技

B型肝炎集団訴訟静岡弁護団による 医療講演会

☎5月14日(出)午後1時30分 ☎静岡市葵区御幸町11・8レイアップ御幸町ビル7階D ☎時之栖神山クリニック荒川医師、野中社会保険労務士を招き肝炎および障害年金についての講演会と弁護団による個別相談会を行います ☎無料 ☎申込不要 ☎弁護士法人こだま法律事務所 ☎941・9750

市民公開講座

☎6月8日～29日毎週水曜日(全4回)午後6時15分～7時45分 ☎場日本大学国際関係学部三島駅北口校舎大教室(文教町1・9・18) ☎統一テーマ「ポストコロナを見据えた国際関係」 ☎無料 ☎・☎当日までに日本大学国際関係学部研究事務課市民公開講座係 ☎980・0808 ※感染症の状況により開催方法を変更する場合があります。詳細は日本大学国際関係学部ホームページ▶ <https://www.ir.nihon-u.ac.jp>

新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図るため、掲載した事業を中止・延期または内容変更する場合があります。

歴史の小箱

No.407

歡喜寺のお地藏様

今回は、徳倉地区の安養山歡喜寺に伝わる不思議なお話を紹介します。

臨済宗円覚寺派のお寺である歡喜寺は、室町時代の応永二十年（一四一三）、法周和尚によって創建されました。このお寺には、お地藏さまにかかわる次の二つのお話が伝わっています。

一つめは、幕末にあった出来事で、本堂北東側の地藏堂に安置されたお地藏さまのお話です。

歡喜寺は、嘉永七年（安政元一八五四）におきた安政東海地震の際、堂舎倒壊の被害に遭いました。四年後の安政五年、今度は集中豪雨がこの地を襲うのですが、そのとき寺には多くの檀家さんが集まり、堂舎の再建について話していたそうです。

その際、誰ともなしに自然と地藏堂の周りに移動して話し合いを続けていたところ、寺の後ろの山が崩れ、大量の土砂が本堂・庫裏をのみ込んでしまいま

した。人々は地藏堂の周りに移動して無事だったため、お地藏さまがお守りくださったと、より信仰を深めたそうです。



▲歡喜寺の地藏堂

二つめは、三代前のご住職の時、大正時代の出来事で、本堂（現本堂の北側にあった旧本堂）内に安置された位牌堂のお地藏さまのお話です。

ある晩、住職の夢に二人の雲水（禅宗の修行僧）が出てきました。雲水は寝ている住職の枕元にやってきて、起きるよう呼びかけて帰っていきました。住職が目覚められずにいたところ、ちゃんと起きられたのか確認するため、雲水が再びやってきたそうです。眠り続ける住職を見て「ずうずうしい和尚だ」といい、その枕元にマムシを放り投げたといいます。住職はこれに驚き、自分では起きられなかったそうですが、それ

でも身体は目覚めませんでした。そうすると、今度は本堂の方で大きな音が鳴り、その音でようやく目覚めることができました。何事だろうと思っただけで、身体を起こすと、枕元で飼っていたヒヨコの籠から火が出ていたところでした。ヒヨコに暖をとらせるために吊っていた裸電球からの出火でした。住職はすぐさま自分の布団で籠を包み、布団ごと外に放り投げることで大事に至らずに済みました。

やがて夜が明け、お経をあげたために本堂へ入りますと、ご本尊の脇に並び置かれた位牌堂から、厨子内に奉安されていたはずのお地藏さまの像が転がり出ているそうです。どこかへぶつけたものか、額が打ち剥けてしまっていました。住職は、お地藏さまが雲水に姿を変えて夢に現れ、さらにはその身を呈すること、お寺の危機を知らせてくださったのだらうと思われたそうです。

この二つのお話は、歡喜寺の二躯のお地藏さまのご利益を伝えるものとして、今も大切に語り継がれています。



富田 蒼介 (錦田 6年)

僕のおじいちゃんはいつもおだやかで、とても優しいです。昔の洋楽が好きで、車の中でよく聴いていますが、僕も小さい頃から自然と耳にしていたので、とてもくわしくなりました。おばあちゃんはお料理上手で、特に毎週作ってくれる石焼きビビンバが大好きです。習字も上手ですが、優しくていねいに教えてくれます。毎日がとても楽しく幸せですが、どんなときでも優しく支えてくれて、いるおじいちゃんとおばあちゃんには、長生きしてほしいです。

ぼくのおじいちゃんおばあちゃん

当番 とみた そうすけ さん